

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：8/12～8/16

### ・8/12(月)

北朝鮮のミサイル、日韓関係、警察の野次排除に波紋、ロシア軍施設で爆発、香港デモなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の見地からは特に問題は見られませんでした。

### ・8/13(火)

香港デモ、貿易管理問題で韓国が集会、韓国の貿易管理措置に世耕経済産業大臣が反論、ロシアの爆発事故などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の見地からは特に問題は見られませんでした。なお、貿易管理問題で韓国が集会については検証者の所感を記しました。

### ・8/14(水)

香港のデモ、「ガラスのうさぎ」著者が最後の講演、韓国の慰安婦を称える日、74 回目の終戦の日などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、「ガラスのうさぎ」著者が最後の講演については放送法の観点からやや不十分な点が見られました。また、「ガラスのうさぎ」著者が最後の講演については検証者の所感を記しました。

### ・8/15(木)

終戦の日特別企画「シベリア抑留」、戦没者追悼式典、韓国「光復節」などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の見地からは特に問題は見られませんでした。なお、終戦の日特別企画「シベリア抑留」については検証者の所感を記しました。

### ・8/16(金)

小泉進次郎衆院議員の結婚報道に対する父・純一郎元首相の反応、秋篠宮さま一家がブータン訪問へ出発、トランプ大統領が香港情勢めぐり米中首脳電話会談を提案などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の見地からは特に問題は見られませんでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年8月12日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：北朝鮮のミサイル、日韓関係、警察の野次排除に波紋、ロシア軍施設で爆発、香港デモ		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日航機墜落事故から 34 年</li> <li>・台風 10 号で水難事故相次ぐ離岸流とは</li> <li>・北朝鮮のミサイル</li> <li>・日韓関係</li> <li>・警察の野次排除に波紋</li> <li>・ヘリで行く限界集落の寿司屋</li> <li>・ロシア軍施設で爆発</li> <li>・香港デモ</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#お盆の帰省</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北朝鮮のミサイル：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>スタジオでの小川キャスターの「このところ続けざまにミサイルを発射し続けている北朝鮮ですけれども、トランプ大統領はこれを問題視しないという姿勢を貫いていますが、これに漬け込む形、といいますでしょうか、北朝鮮は新型の実験をエスカレートさせているんですね。レーダーでの補足や迎撃が難しくなった北朝鮮の新たな兵器とはどんなものなののでしょうか。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>朝鮮中央テレビ「金正恩同士が新しい兵器の発射実験を指導し、新兵器システムが完成しました。」</p> <p>ナレ「北朝鮮が宣言した、新兵器の完成。一昨日日本海に向けて発射した 2 発の飛翔体を指しているから見られます。北朝鮮は先月末から新型と見られるミサイルを相次いで発射、その発射の瞬間と見られる写真や金正恩党委員長の視察などを報じていました。相次ぐ新型ミサイルは何が新しく、どのような驚異となるのでしょうか。」</p> <p>小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）「意図的に軌道の高さを低く抑えて飛ぶ能力を持っている。ミサイル防衛システムが想定する高度よりも低くとぶんですね、いずれにしても迎撃されにくくなるというメリットが有る、飛行性能に関して言うといわゆる先進国、あるいは軍事大国が持っているものとそう遜色がないものをつくってきたわけですね、そうとうこの技術的な水準は上がったと言えますね。」</p> <p>ナレ「北朝鮮が先月発射したミサイルはその形状や軌道がロシア軍が配備するイスカデルというミサイルに似ているといいます。イスカデルは通常の弾道ミサイルよりも低く飛ぶことによってレーダーにも補足されにくく着弾間際に軌道を複雑に変える性能を持つため迎撃が難しいとされています。さらに一昨日発射された 2 発の飛翔体についても。」</p>		

小泉悠「このシステムに関してはこれまで軍事パレードにも登場したことはないですし外見上全く新しいものですね、アメリカ陸軍が採用しているミサイルシステムによく似ているという。全体的な傾向として低いところを飛んで、そして精密な誘導ができる、こういうものを北朝鮮が整備しているというのがわかると思いますね。」

ナレ「より迎撃の難しい新型と見られるミサイルを相次いで発射する北朝鮮、そもそも北朝鮮が弾道ミサイルの実験を行うと安保理決議違反になり以前は日米が厳しく批判してきたいきさつがありますが、この人は。」

トランプ大統領「多くの国でも持っているような短距離ミサイルだ。問題ない標準的な短距離ミサイルだ。」

ナレ「北朝鮮がミサイルなどを発射するのはこの2週間あまりだけでも5回目ですが、トランプ氏はこの週末にも。」

"トランプ大統領「全て短距離で長距離ミサイルではない。」

ナレ「アメリカに届く長距離ミサイルでなければ問題視しない考えを強調。」 "

"ナレ「こうしたトランプ氏の姿勢に潰け込むかのように北朝鮮は。」

北朝鮮対米当局者の談話「アメリカの大統領までもが我々の通常兵器の開発実験について度の国でもある小さなミサイル実験と言って我々の自衛権を認めた。」 "

ナレ「短距離であればミサイルを持つことにトランプ大統領のお墨付きを得たという主張、日本に届く射程のミサイルについても行動がエスカレートするのでしょうか。」

小泉悠「今回はこれだけ短距離ミサイルを乱射しているんだけどトランプは全然問題視しなかった。つまり北朝鮮としてはここまで持っているんだというメッセージを受け取ったわけですね、おそらく北朝鮮の次のターゲットはその日本が射程に入るような準中距離ミサイルになるんじゃないかと思いますね。まあ十分日本が射程に収まるものはもう持っているわけです、それを現在のところは発射を自粛しているだけなので、これをもう一回射ってみるによって探りを入れるということは可能だと思うんですね。」

このトピックに当てられた時間は280秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・日韓関係：結論→特に問題なし

小川キャスターの「その北朝鮮に続いてはこちらも先が読めない韓国との関係です。」というコメントに山本キャスターが「韓国政府は今日、輸出管理上の最優遇国から日本を除外すると発表しました。日本への事実上の報復措置と見られます。」と応える形で導入がなされ、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

"ナレ「韓国政府は今日、輸出管理上の区分で日本やアメリカが含まれた最優遇国グループを二段階に分け、日本を新たにできた下のグループに格下げすると発表しました。」

ムン・ジェイン大統領「今繰り広げられている日本の経済報復を大変嚴重なこととして受け止めざるを得ません。」

ナレ「今朝、韓国のムン・ジェイン大統領は韓国を輸出管理上の優遇対象国から除外するとして日本を改めて批判。韓国側の発表は事実上の報復措置と見られます。今回の措置は9月中に実施するとしていて、韓国企業が日本に輸出する時、必要な提出書類が増えたり、審査期間が伸びたりする見通しです。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「日本による輸出管理上の最優遇国からの除外に猛烈に反対してきた韓国ですけれども今度は同じことを日本にするとということを今日発表したわけですがまたこの対立エスカレートしていくのでしょうか。」

星浩「そうですね、今日自民党の日韓問題に詳しい幹部と話をしてきました。これで一区切りだということなんです。これ以上エスカレートさせないということが大切だという歓送でしばらくは様子見という反応ですね。」

小川彩佳「ただ今週の15日の光復節を控えて今日ムン大統領改めて日本を批判していますし歩み寄りの兆しはなかなか見えないように感じるのですが。」

星浩「そうですね、あのムン大統領光復節の発言はおそらくそれなりに厳しいものになるんでしょうね。ただですね、そろそろその歩み寄りしなければいけないという機運は両方に出てまして、一つそのキーパーソンとしてあげられるのはですね、イ・ナギョンさんという首相がいるんですが、この方は韓国新聞の東京特派員もされて日本に非常に知人が多いんですね、私もよく知っているんですけども。このイ・ナギョンさん、今はですね雰囲気が悪いのであまり動けないんですけども、イ・ナギョンさんがその日本の窓口として動けるようになるかどうかというのが一つポイントだと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は148秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・警察の野次排除に波紋：結論→特に問題なし

小川キャスターの「次です、先月行われた参議院選挙のさなか、安倍総理の演説の際に野次を飛ばした男性が警察官に排除されるという自体が発生しました。この警察の対応を巡って一ヶ月以上もたった今も波紋が広がっています。」というコメントを導入に以下に朱記したようにVTRが取り上げられていた。

"デモ「道警謝れ」

ナレ「一昨日、北海道で行われたデモ。彼らが謝罪を求めている理由は。」

デモ「野次の排除は絶対反対。」

ナレ「事の発端は先月15日。参議院選挙の応援のため、札幌を訪れた安倍総理。」

男性「やめろ、これが民主主義か」

ナレ「複数の警察官に引きづられていく男性。」

男性「安倍、やめろ、安倍、やめろ」

ナレ「男性は連行されながらもプラカードを片手に声を上げ続けえます。一昨日行われたデモはこの道警の対応に抗議するものです。」

デモの参加者「道警にやったことをちゃんと説明してほしいということと謝ってほしいということ、それだけです。」

ナレ「道警は当時、この対応についてトラブルや犯罪を未然に防ぐ措置をとった、と説明しています。北海道警OB箱の対応についてこう指摘します。」

原田宏二氏（元北海道警警視長）「最近の警察の組織の中にですね、治安維持のためなら多少の違法行為も許されるんじゃないかという風潮、そういう物があって、演説が総理だったということも相まって、多少のことはいいんじゃないのと言うような感じでやったのだらうというふうに思います。」

"ナレ「山本国家公安委員長は」

山本順三国家公安委員長「まあいずれにしても今後も不偏不党かつ公平中立中正、これを旨として職務を遂行していくように警察を指導してまいりたい、と。」

ナレ「デモの参加者らは対応は違法行為だとして道警に申し入れを行っています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「当時の道警の説明としてはトラブルや犯罪を未然に防ぐ措置だったということですがけれども、これに対していやいや演説会場で野次ただけで排除とはいくらなんでもひどいんじゃないのという声がまあ一ヶ月近くたった今もひどいんじゃないのという声が一ヶ月近くたった今でも上がっているわけですね。」

星浩「そうですね、私も総理大臣の演説を何十回と取材しましたがけれども野次がなかった演説会場というのはありませんね。野次というのも言論表現の一首ですから最大限認められるべきだと思いますね。まああの今回の警備、どう見ても過剰で問題が多いと思いますし、その北海道警はきちんとこの経緯を検証してですね、道議会とか国会で説明する必要があると思いますね。」

小川彩佳「法的根拠がどこにあるのか、適切だったのかどうか、説明が必要ですね。」

このトピックに当てられた時間は 199 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ロシア軍施設で爆発：結論→特に問題なし

スタジオで山本キャスターが「ロシア北部の軍事施設で 5 人が死亡した爆発事故、周辺の街では一時的に放射線量が上昇し、原子力を推進力とするミサイルの実験に関連した事故との見方もでています。」と伝えた後にナレーションによって「ロシア国営の原子力企業、ロスアトムがアルハンゲリスク州の軍事施設で 8 日に起きた爆発で 5 人が死亡したと発表しました。事故後周辺の街では一時的に放射線量が上昇し、住民が放射能被害の治療に使うヨウ素剤を買い占めるなど波紋が広がっています。アメリカの専門家は爆発は原子力を推進力とする巡航ミサイルの実験に関連している可能性があるとの見方を示しています。」と伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 50 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港デモ：結論→特に問題なし

香港のデモについて「香港の国際空港では今日、逃亡犯条例の改正案に対する抗議活動として大勢の市民が座り込みを行いました。これを受けて航空当局は日本時間の午後後字頃搭乗手続きが終わっている便などを除く全ての航空便の運行を取り消しました。連日の抗議活動の中、機能のデモで参加者の女性が右目に重症を負い、SNS 上で女性のために集まろうという呼びかけが広がっていました。」とナレーションで伝えられていた。

このトピックに当てられた時間は 45 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年8月13日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕 村木祐輔（気象予報士）		
検証テーマ：香港デモ、貿易管理問題で韓国が集会、韓国の貿易管理措置に世耕経済産業大臣が反論、ロシアの爆発事故		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・超大型台風がお盆休みを直撃の可能性</li> <li>・香港デモ</li> <li>・Jリーグ湘南監督にパワハラ疑惑で調査へ</li> <li>・京アニ放火殺人事件で警察が異例の被害者の非公表</li> <li>・貿易管理問題で韓国が集会</li> <li>・韓国の貿易管理措置に世耕経済産業大臣が反論</li> <li>・ロシアの爆発事故</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#第三次タピオカブーム</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香港デモ：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>スタジオで小川キャスターの「続いては再び緊張が高まっています、香港です。」というコメントに山本キャスターが「アジア有数のハブ空港、香港国際空港がデモによって2日連続で機能停止に追い込まれました。なぜデモはここまでの事態に発展したのでしょうか。」と応える形で導入がなされ、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>ナレ「香港国際空港のデモは午後になって再び数千人規模に膨れ上がりました。」</p> <p>森岡紀人（報告）「こちら香港空港の出発口です、このようにカートでバリケードを作って出発させないようにしています。」</p> <p>ナレ「そして、日本時間の午後後時半、航空当局は搭乗手続きを停止、残りの便がほぼ全て欠航となりました。」</p> <p>森岡紀人「今、子供連れの家族が搭乗口に入ろうとしたのですが、デモ隊に止められています、子供は泣いていますね。」</p> <p>デモ参加者「今回のデモが失敗したら今後、旅行にもいけなくなるぞ。」</p> <p>デモ参加者「あなたの息子の将来のためにやっているのよ。」</p> <p>デモ参加者「ソーリーソーリー」</p> <p>ナレ「諦めた乗客に謝罪の言葉を繰り返すデモ隊、170便以上が結構した昨日に続き今日は410便以上が欠航になりました。」</p> <p>日本人観光客「まさか止まるとは予想していなかったですね、明後日から仕事なんでちょっと厳しいですね。」</p>		

日本人観光客「予約したあとにデモとかが起きていたので、まあここまでなるとは思っていなかったですね、どんな手段でもいいので帰ればいかなとは思っています。」

ナレ「アジア有数のハブ空港の機能が麻痺するという異常事態。デモはなぜ、ここまでの事態に発展したのでしょうか。」

"ナレ「香港から中国本土への容疑者引き渡しをめぐる逃亡犯条例改正案を巡って抗議活動が本格化したのは2ヶ月前のことでした。」

林鄭月娥行政長官「香港市民一人ひとりにお詫びを申し上げます。」

ナレ「林鄭行政長官は高謝罪しましたが改正案の完全撤回には応じず、市民らの反発は収まりません。」

デモ参加者「香港を取り戻せ」

ナレ「10週連続となった抗議活動は国際空港での座り込みにまで発展したのです。」

テロップ「香港に自由を」

"ナレ「現状を知ってもらおうと、旅行者にビラを配りプラカードを掲げてアピール。当初、空港での座り込みは一昨日11日までの予定でしたが、一昨日、地下鉄の構内で警察が催涙弾を発射、逃げようとする人に向かって至近距離から発砲、さらに追いかけて警棒で殴りつけます。そして、警察がデモ隊に向けて発射した鎮圧用の弾を撃たれ女性が右目に重症をおったのです。SNSの呼びかけが広がり、昨日、空港の座り込みには一万人が参加、目を撃たないでというプラカードを掲げる人や撃たれた女性と同じように右目を覆った人が。民主派団体のメンバーで雨傘運動を手動した周庭さんは。」

周庭「目を失った女の子がいて、そして警察アホ区内、駅内で催涙弾を射ったという、殺人行為と変わらない行為をしたので、香港人は今非常に怒っていますね。警察がデモ隊のふりをしてデモ隊を持った簡単な確保できるために黒いTシャツを着てガスマスクを付けてヘルメットもつけて、こういう警察側の手段、香港人は今、怒りの気持ちしかない。」

"ナレ「一方で、海外の旅行者からは。」

南アフリカからの旅行者「彼らがしていることは理解するけど、やり方がね私達にもう少し優しくしても良かったんじゃないかした。」

"小川彩佳「その、経済的な面だけではない影響、生活面にも影響してきている方もいらっしゃると思うんですけども。」

周庭「私達本当にいろいろな方法を試して政府はまだ聞こえないふりをしてましたから、市民に影響を与える方法しか選ぶことができないという状況になってしまって、でも今の恐怖は逮捕される恐怖ではなくデモに参加したら死ぬかもしれませんという恐怖感ですね、デモ参加しないと私達の香港、これからどんどん怖くなっちゃうので、参加しないとダメとか、そういう責任感、強い責任感を持っている香港人はたくさんいますね。」

"ナレ「一方、注目されているのは中国政府の動きです。おどろおどろしい音楽をつけ共産党のメディアが後悔した動画、香港に隣接する広東省の深センに武装警察の装甲車やトラックが集結しているとされる映像です。中国政府による香港への介入はあるのか。専門家はこう話します。」

阿古智子（東京大学大学院准教授、現代中国）「何かあれば介入する可能性がないとは言えない状態なんですね。この状態がずっと続くとなると、その30年前のことを思い起こさなければいけないぞというそういう強いメッセージを中国から発しているというふうにも見れると思いますね、はい。」

村瀬健介「香港当局が自体をコントロールできない立場にいるんじゃないかっていうふうにも見えてくるんですけども。」

阿古智子「はい、重大な決断をする際にどうしても中国側の意向が反映されてしまうそうなってくるとまあ市民の方にどのようなメッセージを送るか、そういったこともですね、かなり自信を持って香港の方から発信できない状況になっている。」

ナレ「混迷を深める香港情勢、解決の糸口はまだ見えていません。」

VTR を受けてスタジオと中継の間で以下に朱記したやり取りが繰り返され広がられた。

小川彩佳「さて、連日デモが行われています香港国際空港、今はどうなっていますでしょうか、森岡記者がいます。森岡さん、今の様子を伝えてください。」

森岡紀人（中継）「はい、香港空港の出発フロアにいます。私の 5メートルほど後方に出発口があり、普段はここを通過して飛行機に搭乗するのですが、その出発口を加工無用に若者たちが取り囲んでいます、そのさらに手前にはスーツケースを運ぶカートがずらっと並べられていて 5 時間に渡り 1000 人以上の若者がこの出発口の封鎖を続けています、そしてこちらの出発便の情報が示されているボードがあるのですがほぼすべての便がキャンセルつまり欠航となっていて日本時間午後 8 時時点で香港空港発着の 413 便が欠航となっています。インドネシアバリ島への旅行のトランジットで昨日香港空港に到着したある日本人カップルは今日も飛行機が飛ばなかったことから何も悪くない旅行客が被害を被っているのに、香港政府は何も対策を取らないのかと憤っていました。今後の見通しですが明日以降も毎日空港で抗議活動をするよう訴える呼びかけが SNS 上で拡散していて正常に運行できるようになるか不透明な助教です、以上中継でした。」

小川彩佳「デモ隊のみなさんが一様に顔を隠して佇んでいるのが印象的でした。」

小川彩佳「さて、ここで 1 枚の写真を見ていただきたいのですが、こちら、香港メディアが報じたものですが、でも撮影した場所は香港のホテルと見られています、で、こちらに映っている女性がですね、アメリカの外交官の方、で、面会しているこちら 4 人の相手は香港の民主化運動家なんです、この写真を巡って中国側はアメリカが干渉していると、星さん、批判を強めているんですね。」

星浩「まあそうですね、中国側がこれによってアメリカがデモを扇動しているんじゃないかと批判しているわけですが、中国側は今回非常に強硬姿勢を貫いてまして、まあ軍の介入も有り得るぞということで牽制しているわけですね、人権とかですね、主権という問題など中国の共産党政権、非常に強く反応しますので、これからはこの強硬姿勢続くと思いますね、でアメリカも扇動しているんだということなんです、そのアメリカの方ですね、こちらもその人権とか民主化ということに非常に敏感でして、トランプ政権だけではなく議会の民主党もやはり非常に強くでているというわけですね、で米中対立がずっと続いてましてですね、最初貿易から始まって、通貨、安全保障とどんどん拡大しているんですけどもどうやら今度は香港を舞台とした米中対立の様相が見えてきたということですので、この問題、この混乱はしばらく続くと見ておいたほうがいいと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 633 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・貿易管理問題で韓国が集会：結論→特に問題なし

山本キャスターの「韓国では日本の輸出管理強化に反対する動きが一層強まっていて、今日も大規模な集会が開かれました。」というコメントを導入に、現地からの報告の VTR が以下に朱記したように取り上げられていた。



"今林隆史（報告）「ノー安倍政権などと書かれたプラカードを掲げ安倍政権への批判の声を上げています。」  
ナレ「主催者発表で 6000 人が参加した大規模な集会、日米韓の安保協力を重視する保守派が主催したもので、安倍政権を批判しつつ、日本との対話や民間交流の重要性を訴えました。」  
デモ参加者「安倍政権が貿易規制したことが悪く日本国民は悪くないので文化交流は行うべき。」  
ナレ「一方、ムン・ジェイン大統領は」  
ムン・ジェイン大統領「日韓が共に続けてきた友好・協力の努力を鑑みれば本当に失望で残念だ。」  
ナレ「と、輸出管理をめぐる日本の措置を批判しました。」"

このトピックに当てられた時間は 74 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ 韓国の貿易管理措置に世耕経済産業大臣が反論：結論→特に問題なし

ナレーションによって「一方、その韓国が昨日、日本に対抗する形で輸出上の最優遇国から日本を除外すると発表したことについて世耕経済産業大臣は今朝 Twitter で反論しました。世耕大臣は韓国側の会見を見てもそもそも何を根拠に日本の輸出管理制度が輸出間レジームの基本原則に則っていないと言えるのか全く不明です、書き込み、韓国側の対応に不快感を示しました。」と伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 35 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ ロシアの爆発事故：結論→特に問題なし

ナレーションによって「ロシア北部の軍事施設で今月 8 日、5 人が死亡した爆発事故、国営の原子力企業、ロスアトムの関係者が小型原子炉の開発中に起きた事故だった、と明らかにしました。周辺の街では一時的に放射線量が上昇し、原子力を推進力とするミサイルの実験に関連した事故との見方も出ていました、さらにロスアトムの責任者はなくなった人たちへの最大の敬意の表し方は今後も新しい兵器開発を続けること、と語っているということで、今回の事故が新兵器開発に関係があることを示唆しています。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は 41 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・ 貿易管理問題で韓国が集会

今回の集会の主催者は日米韓の安保協力を重視する保守派と報じられていたが、日米韓の安保協力を重視するというでなぜ保守派に位置づけられるのかが、今ひとつわからなかった。他国の政治勢力について保守やリベラルというラベルを安易に用いるのは日本のラベルを他国に投影することにつながり、誤解を招くのではないだろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年8月14日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：香港のデモ、「ガラスのうさぎ」著者が最後の講演、韓国の慰安婦を称える日、74回目の終戦の日		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風10号あす西日本に上陸</li> <li>・香港のデモ</li> <li>・高速道路のあおり運転で被害者が証言</li> <li>・「ガラスのうさぎ」著者が最後の講演</li> <li>・韓国の慰安婦を称える日</li> <li>・ドラゴンアッシュメンバーら二人を保釈</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】サイレント盆踊り</li> <li>・天気予報</li> <li>・74回目の終戦の日</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香港のデモ：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>スタジオでの小川キャスターの「空港では昨日の夜デモ隊の一部と警官隊が衝突しまして、その混乱の中で中国メディアの記者が暴行を受けました。これを受けまして中国政府はテロリストと同じ行為だとして強く批判しています。」というコメントを導入に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「一夜明けた、香港の国際空港。運行は再開されたものの今日も118便が欠航となりました。」</p> <p>奥野宏輝（報告）「デモ隊の侵入を防ぐため、空港の係員がパスポートや旅行のチケットの提示を求めています。」</p> <p>ナレ「今日も午後から抗議活動が呼びかけられていましたが、その時間に合わせるように空港当局は搭乗券やパスポートをチェックして入場規制を開始しました。」"</p> <p>"レポーター「蹴られてます、車が蹴られてます、警察車両が蹴られています。」</p> <p>ナレ「昨日深夜、政府や警察の対応に抗議し、出発ロビーを占拠したデモ隊の一部と警官隊が激しく衝突。拘束される人もでる中、こんな騒ぎも。」</p> <p>音声「やめろ、落ち着け」</p> <p>音声「お前は誰だ」</p> <p>音声「私は観光客だ。」</p> <p>音声「誰からそのプレスIDをもらったんだ。」</p> <p>ナレ「結束バンドで縛られたのは中国共産党系の国債紙、環球時報の記者です。警察を支持するTシャツを持っていたとしてデモ隊に囲まれ暴行を受けました。」</p> <p>音声「もう殴るな」</p>		

音声「もう十分だ。」

ナレ「これに対し中国政府は直ぐに反応。」

中国政府「法律を無視して人権を侵害するような暴行をするのはテロリストと同じ行為だ。」

ナレ「また、香港政府の報道官は」

香港特別行政区政府報道官「一連の暴力行為は文明社会の一戦を遥かに超えるものだ。警察は法に基づき、襲撃者を逮捕する。"

"ナレ「香港に隣接する広東省の深センには中国の武装警察が集結しているとされる映像が公開されましたが、アメリカの企業が撮影した衛星写真には深センのスポーツセンターに軍用車両と見られる車が待機している様子も写ってました。」

ナレ「香港の裁判所は空港内の指定の場所以外のデモ行為を禁止する臨時の命令を出しましたが、デモ隊の一部は座り込みを続けています。外務省は今夜、香港への渡航について十分な注意を呼びかけるレベル1の危険情報を出しました。」"

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「以前、緊迫感は緩んでいないようですね。で、今回の一連の香港のデモは明確なリーダーがないというのが一つの特徴でもあるんですけども、この空港でのデモについては影響力が非常に大きいということもあってか、SNS上で参加者の間でこのままこのデモを続けてもいいのかどうかという議論がかわされたり、意見を募るといような動きも出てきたようですね。」

星浩「そうですね、まあデモ隊の中でも今後の方針が決まかかっているという状況だと思いますね。まああの、ただ香港事情に詳しいビジネスマンによると、市民とデモ隊の連帯の関係は揺らいでいないというんですね。」

小川彩佳「市民はデモを応援している。」

星浩「やっぱり応援していると。しかし、一部過激化しましたのでね、さてどうしようかということをお話しているんじゃないかということで、まあもしかしたら穏健な行動に少し戻る可能性があると思います。で、一方でその事態収束の鍵を握っているアメリカと中国なんですけれども、ポンペオ国務長官とヨウケッチ政治局委員この人はまあ中国の外交の最高責任者なんですけれども、この二人が話し合いを始めたというので、もしかしたら自体が少し改善されていく方向になるかもしれませんね。」

小川彩佳「収束の兆しとなるのかどうか。」

星浩「まあいずれにしても、その流血の事態を避ける努力してもらいたいですね。」

小川彩佳「ええ、そうですね。」"

このトピックに当てられた時間は274秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・「ガラスのうさぎ」著者が最後の講演：やや不十分

スタジオでの小川キャスターの「明日、8月15日は74回目の終戦の日です。年々戦争をやる世代が減っている中、読みつがれている一冊の本があります。それがこちら、ガラスのうさぎ。子供の頃に読んだことがあるという方も多いんじゃないでしょうか、著者はこちら、高木敏子さん。87歳の方です。語り部として全国を回ってきた高木さんの最後の講演を取材してきました。」というコメントを導入に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

"ナレ「作家、高木敏子さん。87歳の誕生日を迎えたこの日、訪れたのは都内にある中高一貫の女子校です。生徒に向けて語りかけます。」

高木敏子さん「夜の12時頃の空襲だったけれども、もう照明弾で真昼のように隅田川だって一週間死体が浮かんでいたそうですよ。」

ナレ「高木さんは自らの体験を一冊の本にまとめました。1977年に出版された、ガラスのうさぎ。74年前の3月10日、高木さんは東京大空襲で母親と妹二人をなくしました。自宅の焼け跡から見つかったのはガラス製のうさぎ、高熱でぐにやりと溶けていました。」

高木敏子さん「1000℃ないとガラスは溶けないからね、1000℃の火が回ってみんな死んじゃった。損なし、人間の死に方ってないよね。」

ナレ「江戸切子の職人だった父親が作ったガラス細工でした。うさぎを手に、疎開先へ向かいます。神奈川県二宮町、駅前には高木さんをモデルにした像が建てられています。ここ二宮は高木さんにとって忘れられない街です。これは二宮駅近くを走る列車に向けたアメリカ軍の機銃掃射の映像です。駅のホームにはその時の銃弾の跡が74年たった今も残されています、こうした攻撃は幾度となく街を襲いました。終戦のわずか10日前、8月5日もアメリカ軍がやってきました。」

"ガラスのうさぎ本文「機銃掃射だ、伏せろ。と誰かが叫んだ。『お父さん、お父さんどうしたの』と父の方を譲った、でも父の大きな体はびくとも動かない。」

ナレ「当時12歳、目の前の父親をなくしたんです。」

高木敏子さん「お父さんって、もう紫色に顔がなって父が目が開いたまんま死んでいたの。」

ナレ「戦争で父、母、妹二人をなくした高木さんにとって、最近信じられない国会議員の発言がありました。」

高木敏子さん「この間ですね、丸山っていう代議士が北方領土に行って4島を取り返す、それには戦争しかない、もうぶん殴りたいくらい。」

"ナレ「生徒900人を前に1時間かけて自らの体験を語り終えました。」

高木敏子さん「本当に見ていても皆真剣に聞いてくれていてよかった、やってよかった。」

ナレ「講演を聞いた生徒たちの感想文です。」

感想文「命を尽くして語る方々もどんどん少なくなっているということがこんなにも恐ろしいとは知らなかった。」

ナレ「高木さんは目や口が乾き、唾液が出にくくなる難病を抱え、ここ数年入退院を繰り返しています。」

高木敏子さん「本当にまた声がでない。」

ナレ「転倒して太ももを骨折、最近は車椅子で移動しています。今月3日、父親をなくした二宮町へと向かいました。これまで全国各地を回り1300かい以上の講演を行ってきましたが今回の二宮での講演を最後にしようと決めています。疎開中の一年だけ過ごした二宮、父親をなくし一人ぼっちになった高木さんを助けてくれたのは同級生や町の人達でした。毎年開かれている平和と友情の集い。高木さんが訪れるのは8年ぶりです。」

高木敏子さん「あの二宮の駅の天井からヒューッ通りてきて、飛行機がババババーンって射ったのですよ。左のここから入った弾が火葬したらちょうど人差し指くらいの弾が出てきました。」

ナレ「戦争に負け日本はもう戦争はしないと憲法で決めました。平和な日々を守りたい、そう願って高木さんは講演を続けてきました。」

高木敏子さん「こういうお話をすることも病院から止められているんですけども一番最後はやっぱり二宮だと決めていたのものですから。今日で全国回るの終わりにします。どうもありがとうございました、皆さん憲法を守ってください。」

"ナレ「ガラスのうさぎを題材にした曲、講演の終わりにと子どもたちが謳ってくれました。」

高木敏子さん「戦争を起こそうとするのは人の心です。戦争を起こさせないというのも人の心です。みんなで戦争はだめだという、起こさせないという気持ちの和を世界中に広げて行ってほしいですね。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「戦争を起こそうとするのも、起こさせないのも人の心という高木さんのお言葉、改めて胸に刻まなければというふうに思うんですね、戦争という二文字に恐れを抱く心を育むことによるのみ、戦争を防ぐことができる、そのことは既に戦争を知らない世代である私達に委ねられていてそれを次の世代につないでいかなければいけないということを今一度自覚しなければとならないということを感じます。そして政治の果たす役割というのも大きいですね。」

星浩「そうですね。私、三人の政治家のことを思い出しますが、ええ、後藤田正晴さんと宮沢喜一さんと、野中広務さんなんですけど、いずれも亡くなってしまったんですけども、この三人に私ね、生前その、なんのために政治家になったんですかって聞いたことあるんですがね、その三人とも、それはもう簡単だ、二度と戦争をやらせないためなんだと行ってましたですね。まあこの三人とも護憲派と言われる人なんですが、その憲法というのがその戦争をさせないために大いに役に立つんだと言うこともっていましたですね、まあその点ね、その丸山議員の戦争発言っていうのは我々にとってもその日本の政界にとっても大きな衝撃なんですね、ですからその高木さんが怒るのも最もだなという気がします。明日は終戦記念日なんですが、その後藤田さんたちが言っていた戦争は絶対ダメなんだと言う思がね、風化してないかどうか、私達もしっかり見つめる時期だと思いますね。」

小川彩佳「明日は終戦の日特別企画として番組を 20 分拡大してお伝えします。」

このトピックに当てられた時間は 621 秒だった。

スタジオでは小川キャスターが「戦争という二文字に恐れを抱く心を育むことによるのみ、戦争を防ぐことができる、そのことは既に戦争を知らない世代である私達に委ねられていてそれを次の世代につないでいかなければいけないということを今一度自覚しなければとならないということを感じます。」とコメントし、星キャスターもそれに同調していたが、戦争というのは相手のある話であるのに、こちら側の心がけだけで戦争を防げるという言説だけをスタジオで取り上げるのはあまりにも偏った見解であり、放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らして不十分であると言える。

・ 韓国の慰安婦を称える日：結論→特に問題なし

山本キャスターの「韓国では今日、国の記念日である慰安婦を称える日を迎え、日本政府に抗議する大規模な集会が開かれました。」というコメントを導入に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"集会「日本政府は被害者たちに公式に謝罪しろ、謝罪しろ、謝罪しろ。」

ナレ「慰安婦を象徴する少女の像が設置されているソウルの日本大使館前には午前中から元慰安婦の女性を含む

数千人が集まり日本政府に謝罪と賠償を求めました。一方ムン・ジェイン大統領は政府主催の記念式典には出席せず、韓国政府は慰安婦被害者の尊厳と名誉を回復するための最善を尽くす、とのコメントを発表し日本に対する直接的な批判を避けました。」 "

このトピックに当てられた時間は 52 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 74 回目の終戦の日：結論→特に問題なし

番組のクロージングで小川キャスターが「さあ、明日は 74 回目の終戦の日ですね。」とコメントし、星キャスターが「天皇陛下が即位後初めてですね戦没者追悼式でお言葉がありますけれど、その中身を注目していきたいですね。」と応えていた。

このトピックに当てられた時間は 13 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・ 「ガラスのうさぎ」著者が最後の講演

このトピックでは丸山議員の発言について VTR で高木敏子さんが「この間ですね、丸山っていう代議士が北方領土に行って 4 島を取り返す、それには戦争しかない、もうぶん殴りたいくらい。」とコメントしていた。

またスタジオでも星キャスターが「まあその点ね、その丸山議員の戦争発言っていうのは我々にとってもその日本の政界にとっても大きな衝撃なんですね、ですからその高木さんが怒るのも最もだなという気がします。」とコメントしていた。

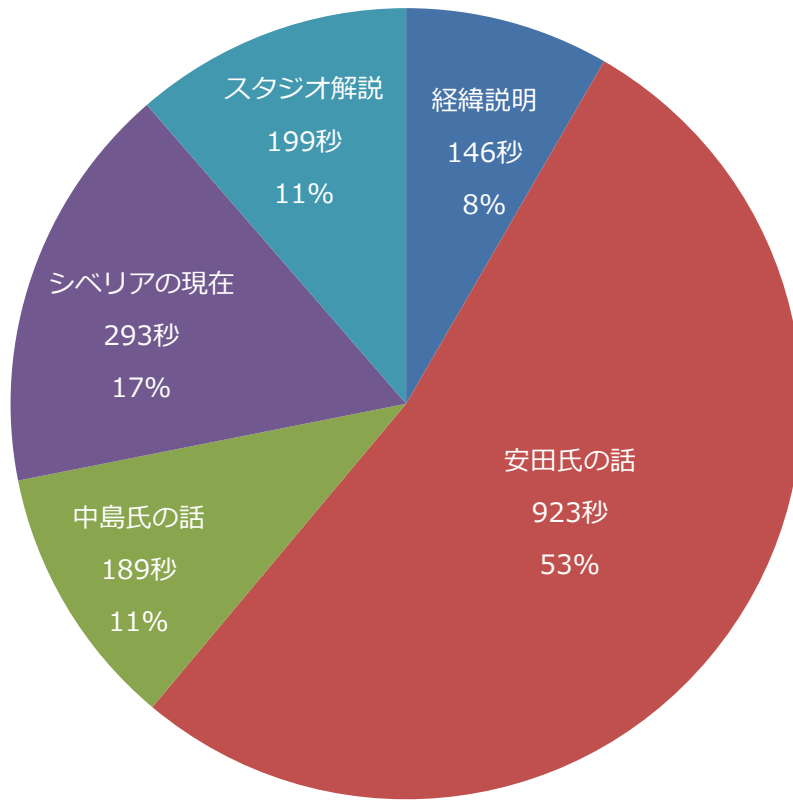
ところで、丸山議員の「戦争でこの島を取り返すのは賛成ですか、反対ですか」や「戦争をしないと取り戻せない」という発言は「戦争をして取り返す」という解釈のみがされる、というのには違和感を覚える。

ソ連崩壊であるとかルーブル危機であるとか、北方領土を平和裏に取り戻すチャンスはあったにもかかわらず 70 年以上も取り戻せない状況が続いてきた事実を前にすると「戦争でもしないと取り戻せないのではないか」という悲観的な見通しを抱くのは無理もない話である。しかし、そうした見通しに立ったからといって、直ちに「戦争をして取り戻すべき」という話にはならないはずであり、「戦争をしてまで取り戻すものでもない、諦めたほうがよい」という話になる可能性も十分にある。

丸山議員の発言が各地で衝撃を持って受け止められるのは、多くの人が自らが口にしないだけで「北方領土を平和裏に取り戻すのは不可能に近い」であるとか「北方領土を取り戻すには戦争以外に道はないのでは」と感じていることの裏返しとも言えるのではないだろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019年8月15日
<p>出演者：【キャスター】小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕</p> <p>【ゲスト】綾瀬はるか（女優）</p>		
<p>検証テーマ：終戦の日特別企画 「シベリア抑留」、戦没者追悼式典、韓国「光復節」</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プールで女児死亡</li> <li>・台風10号被害</li> <li>・新幹線の計画運休</li> <li>・終戦の日特別企画 「シベリア抑留」</li> <li>・戦没者追悼式典</li> <li>・韓国「光復節」</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・#異論反論 objection 「計画運休」</li> <li>・newstories             <ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県あおり運転問題</li> <li>・福島県の井戸で転落死</li> <li>・香港デモをけん制 近くの都市に部隊配置</li> </ul> </li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終戦の日特別企画 「シベリア抑留」→結論：放送法第四条の見地から問題なし。</li> </ul> <p>今回は放送日の8月15日が終戦の日という関係で、終戦の日特別企画として女優の綾瀬はるか氏が戦争体験者の話を聞くという趣旨の企画であった。今回取り上げられたテーマはシベリア抑留であった。今トピックに充てられた報道時間は1750秒で、経緯説明・安田氏の話・中島氏の話・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容は長いので、スタジオ解説のその直前の内容のみ記す。

ナレーター「数年の抑留ののち、舞鶴の港で祖国の土を踏みました。壮絶な抑留を生き抜いた人たち。夢にまで見た家族との再会。最後の船が舞鶴港に入ったのは戦争が終わって 11 年後、1956 年のことでした。」

ナレーター「引き上げ船が着いた港です。栈橋は抑留者たちによって平成に入り復元されたものでした。安田さんも 3 年間のシベリア抑留を経て、舞鶴に帰ってきました。その時目にした景色を今も鮮明に覚えているそうです。」

安田「これが素晴らしいんですよ。日本に帰ってきたらここはものすごく青くて、綺麗だったんですわ。」

ナレーター「安田さんは事実が語り継がれていくことを願っていました。」

安田「戦争をするのは大反対ですよ。だから、子どもらに話をするときも、わしも年やしこんな話はみんなに伝えることはできないし、お前たちがこれから伝えていってくれと。戦争がいかんのか。勝っても負けてもあかん、戦争は。戦争はやめないかん。」

ナレーター「正確な記録も死者の数も、いまだはっきりしないシベリア抑留。安田さんたちの記憶を伝えていきたい。そう思いました。」

小川「勝っても負けても戦争はダメという言葉がありました。綾瀬さん、取材されていかがでしたか。」

綾瀬「はい。取材した安田さんも今私たちと同じ時代を生きているわけですけども、その方があんな飢えとか



寒さ、想像を絶する経験をされていることに驚きました。それで、その戦争が終わった後に、やっと日本に帰れると思った後にそういう経験をされているので、本当に大変な思いをされたんだなと感じました。」

小川「そうですね。そして、帰ってこれなかった方が正確な数字が分からない。何のためにシベリアに連れていかれて、何のために命を落とさなければいけなかったのか。その総括もされていないわけです。飢えと寒さと劣悪な環境の中で亡くなっていった方々の無念さを思うと想像に想像を重ねても追いつかないものがありますね、星さん。」

星「このシベリア抑留というのは日本の政治外交の中でも非常に深い爪痕を残していると思うんですね。まずいろんな悲劇が重なっていますよね。終戦の混乱の中でソ連軍に連行される。それから明らかに捕虜虐待が続いたということ。さらにそういう状態であるにもかかわらず日本政府がまともに抗議もできないし、捕虜の奪還もできない。つまり、戦争に負けたので主権を奪われて外交ができないという状態にされてしまったわけですね。戦争のときに国家というのは兵隊を動員するんですが、いざとなると知らんぷりというか、生命も安全も守れないということをまさに物語った悲劇だと思うんです。さらに、このシベリア抑留の関係者が少なくなることで、この悲惨な経験が語り継がれなくなっていくという新たな悲劇が生まれつつあると思います。」

小川「やはり語り継いでいってほしいということをお安田さんも強くおっしゃっていました。綾瀬さんと私は共に同じ34歳なんですけれども、私たちがこれから戦争を知らない世代としてできることは何だと思われませんか。」

綾瀬「はい。今回安田さんがお話になったことでとても印象に残ったのが、自分がどれほど語ってもそれがどれだけ伝わっているか分からないとおっしゃっていたんですけれども、これからどんどん体験者の方が少なくなっていく中で伝えていくことが難しくなっていくと思うので、せめてこうして貴重な話を聞かせていただいたことで、私たち一人ひとりが平和ということがどういうことかということを考えるきっかけになればいいなと思います。」

小川「そうですね。戦争を体験された方のお話を聞かせていただくだけではなくて、そこに向き合って、自分の中で咀嚼して重ねていくことが大切なんだということをお痛感させられました。今日は綾瀬さんとともにシベリア抑留についてお伝えしました。ありがとうございました。」

綾瀬「ありがとうございました。」

時間配分を見ると、安田氏の話に大きく偏っていることが分かる。しかし、これは戦争体験者の話を聞くという企画の性質上ある程度は仕方がないことと考えられる。しいて言うならば、安田氏と同じように話を聞いた中村氏の話が時間配分の差があることに対して、戦争体験者の話に差をつけてしまっていると指摘ができる。これは放送法第四条の見地に照らした場合大きな問題として取り上げられるほどのものではないと判断した。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・戦没者追悼式典→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は東京で開かれた全国戦没者追悼式典について報道がされた。5月に即位され、式典を天皇として初めて迎えられた今上陛下のお言葉を中心に、靖国神社に参拝した国会議員の動向と安倍首相が玉ぐし料を私費で奉納したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は166秒で、経緯説明が主な内容であった。

報道の内容は以下の通り。

山本「74回目の終戦の日を迎えたきょう、令和となって初めての全国戦没者追悼式が行われました。5月に即位

した天皇陛下が皇后さまとともに初めて出席し、平和への思いを述べられました。」

ナレーター「令和初の全国戦没者追悼式。天皇陛下は皇后さまとともに標柱の前で黙とうを捧げられた後、お言葉を述べられました。」

天皇陛下「過去を顧み、深い反省の上に立って、再び戦争の惨禍が繰り返されぬことを切に願い、戦陣に散り、戦禍に倒れた人々に対し、全国民とともに心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。」

ナレーター「戦後生まれの天皇陛下の初めてのお言葉。戦後 70 年にあたって、上皇様が初めて盛り込まれた深い反省という言葉を用いられるなど、上皇様が平成の時代を通して作り上げてこられたお言葉をほぼ踏襲する形となりました。皇室制度に詳しい所功さん。陛下がお言葉を踏襲した意味を次のように語ります。」

所功「歴史というのは継承が大事なんですけれども、お言葉によって受け継がれた。平和への思いを引き継いで、自らもそれを受け継ぐという決意を表現されたのかなと思います。」

ナレーター「関係者によりますと、陛下は今日の追悼式に向け、上皇夫妻が出席した全国戦没者追悼式の映像を取り寄せるなどして、準備を進められてきたということです。」

「一方、靖国神社には早朝から多くの人が参拝に訪れ、国会議員も次々と姿を見せました。超党派の『みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会』に所属する国会議員およそ 50 人は集団で参拝。安倍総理は今年も参拝を見送り、自民党の稲田総裁特別補佐を通じ、私費で玉ぐし料を納めました。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・韓国「光復節」→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は韓国の光復節において韓国国民が大規模な集会を開き安倍首相を批判する様子と、ムンジェイン大統領の演説の内容が報道された。今トピックに充てられた報道時間は 149 秒で、経緯説明が主な内容であった。

報道の内容は以下の通り。

小川「一方、韓国にとっては今日は日本からの植民地支配からの解放を記念する日だったんですけれども、ここにきて注目されたのはムン大統領の演説内容でした。」

ムン大統領「日本が対話と協力の道に出てくるならば、喜んで手を握るだろう。」

(CM)

小川「8 月 15 日は韓国にとっては日本の植民地支配からの解放を記念する光復節です。各地で抗議集会が開かれたのですが、演説の中でムンジェイン大統領は日本への批判を抑制して、対話を呼びかけました。」

集会参加者「安倍政権を糾弾する！」

ナレーター「ソウル中心部の広場は今夜、ロウソクと『NO 安倍』を掲げた人たちで埋め尽くされました。」

抗議集会参加者①「安倍首相が間違っている。韓国に心から謝罪すべきです。」

抗議集会参加者②「日本国民に問題はない。政治家たちが問題なんです。」

ナレーター「光復節の記念式典の演説でムンジェイン大統領は『不当な輸出規制に対抗する』と日本を批判しつつも。」

ムン・ジェイン大統領「今からでも日本が対話と協力の道に出てくるならば、私たちは喜んで手を握るだろう。」

ナレーター「徴用工や慰安婦問題には直接言及せず、対話と協力を呼びかけました。」

小川「この光復節では歴代の大統領は日本に対してはかなり批判的な言葉を発するそうした場でしたけれども、

ムンジェイン大統領の演説の中では日本との対話に応じるという言葉ですとか、抑制的なトーンですよ。」  
星「日本政府部内でも今日の演説は抑制気味、対日批判は抑え気味という印象ですよ。実はこの演説を受けて日本と韓国の外務次官同士で第三国、例えばフィリピンなどで会談しようという動きがあったんですが、当然まだ時期が尚早かなということで延期ということになりました。この次官級協議を経て、外務大臣、さらには首脳会談ということになって話し合いが動き出すといいと思いますね。隣国同士いろんな問題を抱えていますので、話し合いで解決するんだという意思が大事だと思いますね。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし。

#### 検証者所感

##### ・終戦の日特別企画 「シベリア抑留」

シベリア抑留に関する報道の中で、スターリンの非道について言及があったのは興味深かった。しかし、スターリン個人の非道という点にのみ留めていることは評価できない。ソ連が不可侵条約を一方的に破り領土侵攻を行ったことについての言及が無かったのは評価できない点であった。

また、星キャスターが「このシベリア抑留というのは日本の政治外交の中でも非常に深い爪痕を残していると思うんですね。まずいろんな悲劇が重なっていますよね。終戦の混乱の中でソ連軍に連行される。それから明らかに捕虜虐待が続いたということ。さらにそういう状態であるにもかかわらず日本政府がまともに抗議もできないし、捕虜の奪還もできない。つまり、戦争に負けたので主権を奪われて外交ができないという状態にされてしまったわけですよ。戦争のときに国家というのは兵隊を動員するんですが、いざとなると知らんぷりというか、生命も安全も守れないということをまさに物語った悲劇だと思うんです。」と発言しているが、本来批判されるべきはソ連の蛮行であり、日本政府の外交政策に対する批判を展開したことは論点がずれたものと感じられた。多くの角度から論点を論じるという面ではそれも必要なことかもしれないが、本来の責任を明らかにしたうえで問題を論じる態度が欲しいと感じた。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年8月16日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
<p>検証テーマ：小泉進次郎衆院議員の結婚報道に対する父・純一郎元首相の反応、 秋篠宮さま一家がブータン訪問へ出発、トランプ大統領が香港情勢めぐる米中首脳電話会談を提案</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あおり運転 40代の男に逮捕状</li> <li>・台風之余波 交通機関は大混雑</li> <li>・としまえんプールで事故 小学3年生の女の子が死亡</li> <li>・北朝鮮ミサイル発射 3週間で6回目</li> <li>・小泉進次郎衆院議員の結婚報道に対する父・純一郎元首相の反応</li> <li>・秋篠宮さま一家がブータン訪問へ出発</li> <li>・ファン魅了 ダウン症のドラッグクイーン</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・トランプ大統領が香港情勢めぐる米中首脳電話会談を提案</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小泉進次郎衆院議員の結婚報道に対する父・純一郎元首相の反応：結論→特に問題なし              今回の報道は、小泉進次郎衆院議員とフリーアナウンサーの滝川クリステルさんの結婚発表に関する、進次郎衆院議員の実父である小泉純一郎元首相の反応についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は48秒だった。              なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。</li> <li>・秋篠宮さま一家がブータン訪問へ出発：結論→特に問題なし              今回の報道は、悠仁さまが両親の秋篠宮さまご夫妻と共に、初めての海外訪問先となるブータンへ出発したことについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は25秒だった。              なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。</li> <li>・トランプ大統領が香港情勢めぐる米中首脳電話会談を提案：結論→特に問題なし              今回の報道は、米国のトランプ大統領が中国の習近平国家主席に対して香港情勢を巡る米中首脳間の電話会談を提案したことについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は82秒だった。              なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。              スタジオでは以下に朱記したやりとりが繰り返された。              小川キャスター「電話会談では実のある議論を、と言っていましたが、どうでしょうか」              星キャスター「おそらく形式的なやり取りに終始するでしょうね。香港は中国の主権にかかわる問題ですから</li> </ul>		

## NEWS23 週刊報告 詳細版

中国は絶対譲らないんですよ。ましてはトランプさんが主張しているように、習近平さんがデモ隊と対話するなんて考えられないですね」

小川キャスター「なかなか先が見えませんが、香港ではこの週末にもデモが予定されているようです。」

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし